

社会の持続的な平和と発展 (sustainable development) を牽引できる「グローバル・リーダー」を育成

重点的に育成する資質・能力

創造力 (Creativity)、批判的思考力 (Critical thinking)、協働力 (Collaboration)、コミュニケーション力 (Communication)
共感力 (Empathy)、メタ認知力 (Meta-cognition)、オープンマインド (Open-minded)、自己管理能力 (Self-management)

未来創造・想像科

★ デザインシンキング等を活用した「課題発見・解決サイクル」(想像→共有→協働→創造)を通して、グローバル・リーダーに必要なコンピテンシーを育成

《高3》

- ◇ 卒業プロジェクト (Capstone Project II : CPII)
⇒ 県内企業・NPO・大学など、多様な主体と協働し、生徒自らが設定した課題の解決に取り組む (ソーシャルアントレプレナーとしての起業、NPO法人・社団法人の設立等)

CP II の活動内容から逆算し、生徒自身が必要な学習活動を選択

国際バカロレア ディプロマ・プログラム (IBDP)

Theory of knowledge (知の理論)

「知識とは何か？」について探究し、現実世界を分析する視点を修得

Creativity / Activity / Service (創造性/活動/奉仕)

学校 & 地域のコミュニティでの体験や社会活動を実施 (2年間で150時間)

Extended Essay (研究論文)

自分でテーマを設定し、探究し、論文を作成 (4,000語の英語 or 8,000語の日本語)

6つのグループ

1. 言語と文学 (母語)
 2. 言語習得 (外国語)
 3. 個人と社会
 4. 科学
 5. 数学
 6. 芸術
- (DP取得には外部評価及び内部評価を通じて、45点満点中、24点以上が必要)

教科学習等の特色

★ 知識の構造化・深化を意識した主体的な学び (プロジェクト学習や探究学習等) を通じて、必要なコンピテンシー (知識・スキル等) を一体的に育成

◇ 高学年に上がるに連れ、寮での学習で知識をインプットし、学校では知識を活用・探究する活動 (アウトプット) を実践

◇ 授業のねらいに応じて授業時間 (1コマの長さ)・学習形態 (学年を含む)・教科の区分等を弾力的に運用

◇ 定期考査は、個人による記述式のペーパーテストと、グループによる活動を組み合わせて実施。グループ活動は、教員のみならず、他の生徒や地域住民、外部指導者などによる、多面的な評価を実施

◇ 高1までにCEFR-B2レベル (英検準1級相当) の英語力を育成

- ・「英会話」の授業を新設 (中1～中3)
- ・段階的な英語でのイマージョン教育
- ・正課の授業にオンライン英会話を導入

生徒自身が「学びの意味」をデザイン (生徒によるキャリアパスポートの作成)「ゼミ」の開催

連携接続 (教員が「学び」をデザイン (教員主導によるカリキュラムマップ等の作成))

「ゼミ」の開催

※学年横断のチームで、課題研究等を行う

※授業中のみならず、放課後においても、適宜、ゼミ活動を実施

《高1》

- ◇ ソーシャルイノベーション スタディ
- ◇ サステナビリティと平和学 (Sustainability and Peace Science)
- ◇ デザインシンキング スタディ
- ◇ 海外研修 (夏)
(※事前・事後研修として、ICTを活用し、海外生徒等との協働学習等を実施)
- ◇ キャリアパスポート及びCP II (高3)に係るアクション・プランの作成

《中3》

- ◇ 修了プロジェクト (Capstone Project I : CPII)
⇒ 地域社会等と協働し、生徒自らが設定した課題の解決に取り組む

《中2》

- ◇ STEAM (Science + Technology + Engineering + Art + Mathematics)
- ◇ 海外研修 (夏)
(※事前・事後研修として、ICTを活用し、海外生徒等との協働学習等を実施)
- ◇ イノベーションを起こす手法 (思考法・ツール等) の修得
(ex. デザインシンキング、U理論、情報・リサーチリテラシー、統計学、交渉学等)
- ◇ CP I (中3)に係るアクション・プランの作成

《中1》

- ◇ 大崎上島の特色を活かした体験活動
(ex. 神峰山登山、瀬戸内海での権伝馬競漕、キャンプ、漁業・農業・製造業体験等)
- ◇ 大崎上島の課題と魅力を発見するスタディ・ツアー
- ◇ 哲学対話、ケーススタディ

寮・地域における生活・学習

★ 中1～高3までの異年齢・多国籍の仲間と、10人1組の「ユニット」を構築し、共同生活を実施

★ 各ユニットリーダーを中心に、寮は自分たちで運営・管理。また、生徒主体の様々なイベント等を開催

役割	対象学年
アドバイザー (経験を生かし、リーダーを支援)	高2・3
ユニットリーダー (ユニット全体の共同生活をリード)	高1
留学生バディー (留学生の生活・学習サポート)	高1
サブリーダー (リーダーを補助)	中3
中1生バディー (中1生の生活・学習サポート)	中2

★ 中1・2は、プラザ等での一斉学習時間を確保し、基本的な学習習慣を確立

★ 中3～高校生は、学習内容・学習場所、方法、時間等を自由に決定し、自身の学習スタイルを確立

★ 放課後活動として、地域と連携の上、地域活動・スポーツ活動・文化活動など、様々なプログラムを用意

★ 放課後活動、「ゼミ」の活動、地域でのホームステイ、学年会などを通じ、生徒は、寮での「ユニット」のみならず、多種多様なコミュニティに所属

《使用言語》

日本語 英語

高3

高2

高1

中3

中2

中1

20%

80%

40%

60%

60%

40%

80%

20%